

【オプトアウト】

これまでに大腸穿孔の治療を受けた患者さんへ 【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

東近江総合医療センター外科では「大腸穿孔手術症例の臨床学的検討」という臨床研究を行っております。この研究は、大腸穿孔症例の治療およびその臨床的な結果を調べることで、大腸穿孔に対する有効な治療指針を立てることを主な目的としています。そのため、過去に大腸穿孔の治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は東近江総合医療センター倫理委員会で審査され、院長の承認を受けて行われます。

研究期間

平成 30 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 11 月 10 日まで

対象調査期間

平成 26 年 1 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日まで

- 今回の調査研究の対象はこれまでに大腸穿孔の治療を受けた患者さんのカルテ、血液データ、CT画像などです。
- 過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は東近江総合医療センターに帰属し、あなたには帰属しません。
- この調査研究は、東近江総合医療センターの研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

国立病院機構 東近江総合医療センター

外科医長 研究代表者： 小島 正継

TEL : 0748-22-3030 (代)

FAX : 0748-23-3383 (代)